

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2025 年 2 月 20 日(木)15:30～17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

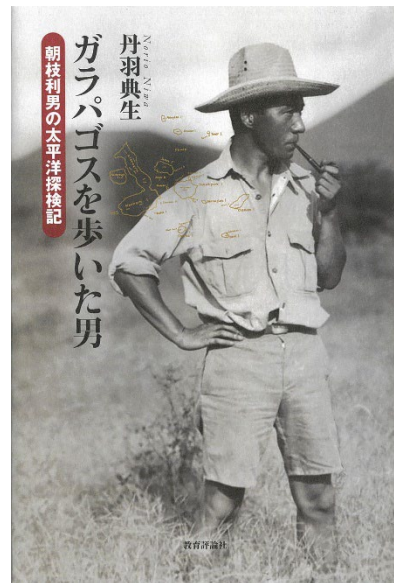
— 山中 由里子 (議長) —

3. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

『ガラパゴスを歩いた男——朝枝利男の太平洋探検記』

(丹羽典生 著／教育評論社)



— 丹羽 典生 (グローバル現象研究部 教授) —

4. 【館外開催】みんな公開講演会「不安の時代——若き人びとの心のゆくえ」

[詳しくはこちら](#)

不安の時代を生きる若年層。グローバルな状況を敷衍しつつ、ローカルな人類の実践に目を向け、不安をめぐる多様な視点とアプローチを模索します。

日 時：2025 年 3 月 21 日 (金)
18:30 ～ 21:00 (開場 17:30)

会 場：オーバルホール
(大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞大阪本社ビル B1)

主 催：国立民族学博物館、毎日新聞社

定 員：480 名 (事前申込み制／先着順)

参加費：無料

申込期間：3 月 11 日 (火) まで

※館外での開催となります。ご注意ください。



— 諸 昭喜 (グローバル現象研究部 准教授) —

5. いま、中東世界で何が起こっているのか？——前・駐レバノン大使に聞く

詳しくはこちら

中東外交の第一線で活躍してきた前大使の体験をもとに、中東世界の深層を知り、地球社会のメンバーとしてこれからの世界をともに考えます。

日 時：2025 年 3 月 22 日（土）
13:30 ～ 16:00（開場 13:00）
会 場：みんなくインテリジェントホール（講堂）
主 催：NIHU グローバル地中海地域研究 国立民族学博物館拠点
共 催：国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団
定 員：350 名（事前申込み制／先着順）
参加費：無料（展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です）
申込期間：3 月 14 日（金）まで



— 岡本 尚子（人間文化研究創発センター研究員・
国立民族学博物館 グローバル地中海地域研究拠点 特任助教）—

6. みんなく創設 50 周年記念国際シンポジウム

「アート、人類学、ミュージアム—その過去、現在、そして未来」

詳しくはこちら

民博創設 50 周年というこの節目に当たって開催するこのシンポジウムは、民博における、そして世界における「アート、人類学、ミュージアム」の関係について、その過去を検証し、現在を定位し、未来にむけての指針を得ることを目的としています。その作業は同時に、世界の人類学研究、博物館の動向における民博の位置づけを改めて明らかにするものでもあります。

<DAY1>

日 時：2025 年 2 月 28 日（金）13:00 ～ 17:00
会 場：本館第 4 セミナー室

※一般参加者はオンライン配信のみ参加募集します。

<DAY2>

日 時：2025 年 3 月 1 日（土）10:30 ～ 16:45
会 場：みんなくインテリジェントホール（講堂）
主 催：国立民族学博物館、JSPS 科研費 海外連携研究
「人類学における芸術研究の刷新」(20KK0017)、
JSPS 科研費 基盤研究「社会的危機下のアフリカに
おける文化の「創発」に関する人類学的研究」(23K20563)
定 員：会場参加 350 名、オンライン参加 500 名（要事前申込み／先着順）
参加費：無料（展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です）
申込期間：2 月 25 日（火）まで



— 吉田 憲司 館長 —

※その他の配布資料 外国人研究員受入一覧（資料 4）